



学校教育目標
「夢をいだき、強くたくましい子どもの育成」

平成30年2月5日 No.36

学校評議委員会（兼 学校関係者評価委員会）の記録

校報「にはやし」No. 35でアンケート結果を配付しましたが、今回はそれを基に会議で話し合った内容について紹介いたします。（参観授業の様子はNo. 34で紹介しております）

1 開催日時	平成30年1月31日（水）	14時～15時40分
2 会場	能代市立朴瀬小学校 校長室	
3 出席者		
(1) 学校評議員	〇〇 〇〇（朴瀬地区）	〇〇 〇〇（産物地区）
(2) P T A	〇〇 〇〇（P T A副会長）	※
(3) 学 校	松橋 浩行（校長）	〇〇 〇〇（教頭）
4 内 容		
(1) 授業参観	14時00分～14時30分	
(2) 学校評議委員会	14時40分～15時40分	
① 校長あいさつ		
② 説 明	「2学期の学校評価」と「あきた型学校評価」について	
③ 質疑・応答		
④ 協 議		
※ 当日ご都合かつかずご欠席であったP T A役員の方には学校評価について、2月2日（金）の18時30分からの役員会の際に説明いたしました。		

5 学校評議員会（兼学校関係者評価委員会）の状況
(1) 校長の説明から
① 2学期の保護者の教育活動に関するアンケートから
・ 1学期同様に、全保護者から回答をいただき、回答率100%であった。
・ 「1 朴瀬小学校の教育活動」についての回答は、すべての項目で「よく思う」「思う」の肯定的な回答であった。1学期同様、肯定的な見方をいただき感謝している。
・ しかし、1学期と比較してみると、「よく思う」の率が減った項目があった。広報活動と学力定着の努力の項目が減っているのが残念であった。肯定的な評価をいただいているが、「よく思う」から「思う」に回答を転じた方々の思い、考えをP T Aの際などの機会にくみとって改善していきたい。
・ 「2 自分のお子さんについて」では、設問1から6まですべて肯定的な回答であった。1学期との比較で「学校は楽しい」で100%「よく思う」という回答をいただいていたが、2学期は80%となった。肯定的な回答ではあるが、「よく思う」から「思う」へ転じた事実を大切に、2学期の教育活動をふり返り、個々の子どもの気持ちにもう一度寄り添い再度100%を目指したいと思う。
② 2学期の児童対象アンケートについて
・ 児童アンケートでは13項目のうち11項目で1学期よりも評価が高くなっている。子どもたちの日常生活の様子を見ると、教職員も子どもの自己評価通りであるととらえている。
③ あきた型学校評価について
・ 学習指導については、4年生・5年生共に学校の目標値に達していた。また、1年生から3年生までも学力定着の取組に努力したのでAとした。

- ・生活指導については、「思いやりの心の育成」を掲げて取り組んできた。全校で異年齢の関わりで育ってきているが、学級内の様子を見ると頑張っ
てほしい面が見られるという学級担任の評価によりBとした。
- ・健康管理では、健康チェックが目標値より上回っていた。しかし、児童
自ら健康状態を適切に報告したり、簡単な応急処置について理解したり
するという目標にはまだ達していないのでBとした。

(2) 質疑・応答

- ① Q 児童が簡単な応急処置をするとはどういうことか。
A 怪我をしたら、怪我の程度を見極め、保健室に行くとか、行く前に傷
口を洗うとか、先生を呼ぶとか、適切な行動をとれること。自分の判
断で大丈夫だと思ひ、後で治療を要するような怪我になることもある。
それを見極められるようになること。

(3) 協議

- ① 1学期より児童の評価が高まったのに、保護者の「よく思う」が減少し
たことについて
- ・今日の授業の様子を見てると子どもたちは4月からものすごく成長し
ていることを感じる。子どもは学校で一生懸命取り組んでいるので、家
ではゆっくりしたいという思いがあるのでは。それが保護者の評価の低
下につながっているのではないかと感じた。
- ② 「思いやりの心」の育成について
- ・放課後、図書館では、トラブルではないが自分の意見や考えを言い合う
場面がある。話すことで子どもたちが解決していつている。「すべて仲
良く」ではトラブルを自分で解決していく力が付かないのではないか。
こうした場面が子どもたちの「思いやりの心の育成」につながる。
先ほどBの評価と話が出たが、子どもたちはよい成長をしていると感じ
る。
- ③ 授業を参観しての感想
- ・みんなが主役の授業であった。みんなが発表でき、自分の意見を話し
て、友達の話を聞いていた。この雰囲気がいよい。小規模校ならではの教
育が見られた。
 - ・友だちの話をよく聞いている。例えば「〇〇さんと似ていますが」と
いう言い方が低学年でも身に付いてきている。1年生の絵を見てお話
をするのを見て、これまでの伸びを感じた。
 - ・PTAの授業参観では、学級一緒の活動が多い。今日、はじめて複式
の授業を参観したが、子どもたちが今やることを理解して、自分たち
で学習を進めていつている様子が素晴らしいと思った。このような授
業では集中力が高まると感じた。日々の先生方の指導もありがたく感
じた。

(4) 学校評議員「あきた型評価」について

- ① 学習指導について
具体的な目標も達成されており、具体的な方策もしっかり取り組んでい
るので評価はA。
- ② 生徒指導について
トラブルに発展するほどの自分本位な言動は少なく、むしろ子どもたち
の発達につながっている。フォーマルな場では、具体的な目標は達成され
ていると思われるので学校はBとしたが評価はA。
- ③ 健康管理について
健康チェックは目標に達している。応急処置等、これからも頑張っ
てほしいので評価はB。

6 成果・課題等の所感

- ・授業参観後の感想では、子どもたち一人一人の活躍の場面をとらえて、「み
んなが頑張っている学校」であることを評価していただいた。小規模校なら
では、教育実践のよさが、子どもたちの姿にあらわれていることを捉えてい
ただき、嬉しく思った。
- ・日頃、地域で、放課後子ども教室で、家庭で子どもたちの様子をしっかりと
見ていただいている方達からいろいろな角度で子どもたちの頑張りを確認でき
た。特に生徒指導に関して、子どもたちの成長を見取り、評価をAとしてく
ださったことが有り難かった。
- ・統合後、「朴瀬の地域や教育を残していく」ということは、地域の方の思い
であり、それに向けてこれからの学校運営を考え、具体的な方策を立ててい
きたいと感じた。さらに地域の方々、保護者の皆さんと手を携えて、教育活
動に取り組んでいきたいと考えている。